

正義とは何か。

「正義は往々自己の不利に見えるところが少なくない。しかし結局、正義が真の利益である。自ら信ずる正義の為に、不利はおろか、時には死をも辞せぬことが、人間の貴い道徳であり、権威である。この信念と気節とが、一切の困迷を救って、国民の新運命を開く鍵である。この信念と気節のある人々が国民の指導者に輩出するほか、日本を救う道はない。」

安岡 正篤

このことが最も明確に示されたのが、親日国台湾の総統選でした。

蔡氏の毅然とした態度、信念、パワーが、習近平中国共産党の軍事的、経済的、政治的な恫喝・圧力に優ったのです。我々日本人は、幸いにも正義が具現化した瞬間を見たのです。

香港の運動が、大きく影響したことは間違いありません。残念ながら、チベットやウイグルでの暴虐は、我々に直接は見えません。実態は、香港レベルではありません。諸外国が意見を言えば、内政干渉と斥け、考えただけでも空恐ろしいことが、習近平の中国共産党では、今も現実続けられているのです。

大商社の伊藤忠ですら、金儲けの為なら、中国共産党の習近平に、すり寄って行くのです。伊藤忠の会長をした、丹羽宇一郎は、何と「特命全権大使」を務め、日本の代表なのか、習近平の手先なのか分からない対応をしました。後の世には「売国奴」と言われかねないことを平気で行うのです。恥の上塗りに、出版物まで出しています。

日本の為という“大義”も無ければ、“信念”も無い、“勇氣”も無い男です。情けない事、この上無しです。この程度の男が、大企業のトップには、まだまだ沢山いるのです。台湾の蔡氏の爪の垢でも飲ませて、この浮ついた日本の政治家、経営者、また社会的リーダーへの強烈な教訓にしなければなりません。

我々中小企業の社長は、どうでしょうか？

目先の損得、有利不利で、信念なく揺れていないでしょうか？

国益を守るため、将来の日本の子供たちのため、日本の誇りのためという高い視座を持っているでしょうか？

国土とは、決して軍事的・政治的勇者だけを言うものではありません。

否、我々中小企業の社長の心構え、日頃の姿勢そのものが、日本を支えるベースなのです。忙しい日々の中で、自らの経営姿勢を問い直し、社員教育にエネルギーを割いて、社員の生涯に渡る生活を保障し、経営を伸ばしておられること。これらを一括して『正義』と言います。

先行き不透明な時代だけに、歴史に学び、先哲に学び、日本人としての誇りと自信を取り戻して参りましょう。世界で一番の皇統が我々にはあるのです。困難に遭うほどに、快活に！社長、共に、正義を守って参りましょう。



今月のポイント

視座を高く持ちましょう